



さくらんぼ

仏教婦人会連盟
寺院女性会連盟

合同機関紙

発行所：

新潟教区教務所

長岡市与板町

与板乙 4356

TEL (0258) 72-2120

F (0258) 72-2536

「如月の華」を観劇して

元上組 託念寺門徒 岸 真澄

仏教婦人会・寺院女性会で、前進座の「九条武子ものがたり」観劇に参加しました。当日のコースは、築地本願寺参拝、築地場外でのランチ、お芝居、とても魅力的でした。

十五名の皆さんと一緒に、築地本願寺で野村所長のお話をいただき、それぞれの思いで手を合わせました。お昼は、本願寺の隣の築地場外のお店でお好みの昼食をいただき、その後買い物やチョイ食いをしてとても楽しかったです。

浅草までは電車で移動、仲店を通り抜け、公会堂での観劇です。「九条武子」の名前は聞いていても、実際はきちんと理解していなかった私です。婦人の為、いや、全ての人々のために、病院・学校・孤児院・教育活動・会合運動などを長井間続けてこられた方です。

関東大震災の中で、仏教婦人の仕事、歌人としても全力で行動されました。そのことが今、目の前で展開されていて、まばたきする間もなく見入っていました。劇中、地方へのお出ましの行き先を「にいがた」「三河」などと、私たちの来場をユーモアにセリフにされていました。

「臨終法話」の場面では、自然と涙が出てきました。迫力があり、息づかいまで感じられ、とても感動・感激でした。継続することが大切なことと改めて思いました。

お芝居を堪能し、皆一緒に帰路に着くことが出来ました。帰りの新



幹線では、行とは違う和やかな雰囲気でした。心豊かに過ごせたことをとても喜んでおります。

合掌



合同研修会に参加して

三条組 正覚寺寺族 大溪瑠美子

十一月十三日(金)、仏教婦人会連盟・寺院女性会連盟合同研修会が新潟別院にて開催されました。テーマは、「葬送儀礼の本来の意義」。雲林重正師によりお話をいただきました。

通夜・葬儀といった儀式が形式的になり、本来の意義や心がおろそかになっていないか?という問いは、私も普段より気にかかっていたことでした。本来の意義を確かめるお話は、自分の心の持ち方を見つめ直す機会となりました。

死者への供養ではなく、本来はその人の最後のお勤めである枕経。「そばについて相手をする」「看取り」を意味した通夜。「死んだらお終り」ではなく、阿弥陀様に抱かれてあるいのちであることを表した葬儀。参列者は、身近な人がこの世の人生を終える場に立ち会い、別れの縁によって人生を超えていく道に出逢う。通夜の葬儀はそういう大切な場であることを確認しました。

そして、そこには「自分で最期を見送った手ごたえ」が大事なのではないかと、というお話が強く響きました。昔と違い、葬儀社に任せてどんどん進行していく現在の通夜や葬儀。けれども、なるべく家族や参列者に自分の手で送る意識をもってもらいたい。私どもの寺では、「僧侶の念仏を聞くだけでなく、参列者が自分の口で南無阿弥陀仏を称えることが大事だ」という話をよくしますが、そういう意味でも大切だと感じました。雲林師は手製のリーフレットを機会があるごとに配り、葬送儀礼の本来の心を伝えていらつしやるとのことでした。

私も自坊で行われる礼参や中陰法要などの際、本来の意味をよく心に留め、故人にいただいた縁を感じながら門信徒の方と接していきたいです。また、いつか親しい人を見送る時は、出来るだけ寄り添い、自分お手を使って見送りの儀式に立ち会いたいと思います。



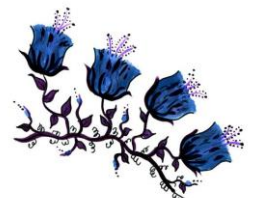
浄土真宗本願寺派(お西)
通夜のこころ

浄土真宗本願寺派(お西)
白骨章

浄土真宗本願寺派(お西)
葬儀のこころ

浄土真宗本願寺派(お西)
法事のこころ

【葬送儀礼のリーフレット】
みなさん、活用してください。



新潟組仏教婦人研修会に参加して

新潟組 金照寺門徒 北畠 須美子

この度、平成二十七年十一月九日に仏教婦人研修会に参加させていただきました。企画や計画の段階から関わらせていただき、初めてのことでだったので色々分からない事が沢山ありましたが、皆様のご協力のもと、無事に研修会を行うことができました。

まず、バスにて新潟組内の寺院を回り、乗り合わせて与板の新潟別院に向かいました。到着後、おつとめをし、国府教区・浄善寺・長井順一氏の御法話をお聞かせいただきました。普段、なかなか御法話に馴染みがなかったのですが、図やイラストを使いながら分かりやすく仏さまのお話をしていただきました。自分の物の見方、考え方は正しいと思っているようですが、簡単にねじ曲げられてしまうもののだということ。お話の中で0歳の赤ちゃんもこの私もいつ命を終えてもおかしくない人生を歩んでおり、一日一日をいただいて生きていたことに気づかされました。私たちの苦しみを見抜かれて阿弥陀様はお救いくださいと、有難いお話を聞かせていただきました。

別院での参拝が終わりバスでの出発時にご講師さんと職員の方が別院の門までお見送りをしてくださったのが大変印象的で、心温まる時間を過ごさせていただきました。

その後バスで移動し寺泊で海鮮のお食事、とても美味しかったです。なかなか普段交流のない他の寺院の檀家さんともお話できて、楽しかったです。お食事を済ませた後、寺泊の市場でお買い物をしました。蟹やお魚、今晚のおかずの材料を何にしようかな、など考えながらお土産を選んでおりました。日帰りバス旅行という短い時間でしたが沢山の皆様と交流する機会が持てて大変有意義であったと思います。

また、このような機会があれば参加したいとお声を多くいただきました。次回開催する場合はもう少し早い段階から計画し皆様にお知らせできればいいと反省点もございます。ご寺院の皆様、檀家の皆様

の沢山の皆様とお会い出来ることを楽しみにしております。



布教使：永井順一師（上越市）

キッズサンガでおとぎコンテスト

巻組 妙光寺門徒 須貝房子

巻組では、二七年度最後の行事としてのキッズサンガは「おとぎコンテスト」で精進させよう」に決まり、二八年二月二七日、吉田産業会館を会場に実施されました。

昨年秋には、各部門合同で日帰り旅行が有り長野の善光寺へ参拝し、事前にコンテストの参考になればと門前のお店で精進料理をいただきました。お膳に並んだお料理は、私達がお寺で作ったり、いただいたりするものとチョット違っておりましたが、材料は殆ど同じでした。食材も手間と一工夫で変身する事を学びました。

出場者は、僧侶、寺院女性、門徒推進員、仏婦の四チームです。食材、調味料等に制限のある中、各チーム大人用、子ども用を一品ずつ作り、審査してもらいました。審査員は、第二代レシピの女王・柳川香織さんを特別審査員にお迎えし、組長、総代会一人、仏壮二人、他に参加者全員による割箸での投票でした。

仏婦チームは、源昌寺のおとき担当の皆様にお骨おりのいただき、役員と担当寺院の坊守さんがサポートに入り、和気あいあいのうちに試食をし、前日には念入りな下ごしらえをして当日に備えました。

結果は、下記の賞をそれぞれのチームが受賞しました。各チームともアイデアいっぱいのおいしいお料理でした。

柳川先生よりの総評は、「それぞれに工夫があり、野菜だけと思えない満足感があり、素晴らしい。」でした。チーム一同、今日のご縁に感謝し「おとぎの心」を伝えられる様、「精進させよう」で楽しい一日を終えました。

合掌



【結果発表】

*優勝

仏婦チーム

*目と舌を喜ばす愛情たっぷり賞

門推チーム

*子ども大好きアイデア賞

寺院女性チーム

*以外と料理上手だったで賞

僧侶チーム

「みんなで歌いましょう」

平成二八年三月五日(土)「若い女性聞法の集い」が本願寺新潟別院を会場に開催されました。講師には得度習礼所・教師教修所講師の野村佳代先生をお迎えし、前半は仏教讃歌のご指導で、後半はみんな楽しく歌いました。

★ 参加された方の感想

仏教讃歌や懐かしい歌を久し振りに大きな声で歌い、一年分の歌を歌ったような気がします。楽しかったです！

野村先生の美しい声量豊かな仏教讃歌をお聴きすることが出来、感激いたしました。とても良い機会を与えていただき、感謝いたします。これからも、仏教讃歌を少しずつ皆様と一緒に歌って行きたいと思いました。あっという間の一時で、もっと時間が欲しいと思いました。

先生のお話の中にもありましたが、仏教讃歌には人の心を温かくするものが沢山あることを痛感いたしました。

大変ありがとうございました。



思いっきり声を出し、宗教にはあまり縁のなかった私ですが、本当にすがすがしい気持ちになりました。

ご指導下さった野村先生の声の素晴らしさに感動いたしました。年に一回位、この様な期会があっても良いなと思いました。

各お寺でもこの様な催しがあると楽しいと思います。



野村先生の美しく素晴らしいお声に感激しました。

初めての仏教讃歌も、やさしいご指導で何とか大声で参加する事が出来ました。

普段、お腹から大きな声を出す事がないので、ストレス解消にもなり気分爽快です！！

ありがとうございました。

- ◎改めて仏教讃歌にはいい曲が沢山あるなあと感じさせられました。又、その他の曲も素敵な曲を選んで頂き、楽しく歌わせて頂きました。ありがとうございました。
- ◎楽しいお話しと歌とでステキな時間を過ごさせて頂きました。久しぶりに歌をうたいスッキリした気分です。地域の活動の中でも取り入れていけたらと思っています。また、美味しいお茶とお菓子、ご馳走さまでした。役員の皆様の心遣いに感謝いたします。
- ◎とても楽しい一時を過ごさせて頂きまして、大変ありがとうございました。また、今日の様な会合を是非企画して欲しいと思っております。
- ◎初めて若い女性の集いに参加いたしました。自分が歌が好きということもあり、楽しい時間を過ごさせて頂きました。特に講師先生の楽しい軽快なトークと素晴らしい歌声、自分が知っている曲も沢山あったので良かったです。ありがとうございました。
- ◎仏教讃歌は初めてでした。ピアノ伴奏でオンチながら楽しく声を出しましたが、年とともに高音が出ず、ちょっと苦しかった気がしました。このような催しをもっと広く皆さんに広められたら良いと思いました。初めての経験で新しい発見をしました。

楽しい時間でした。歌を歌う事が日常的にないので新鮮でした。時間が過ぎるのがあっという間で、またお願いしたいと思います



とても楽しい企画でした。おやつも美味しく、役員様の御苦勞が偲ばれました。準備大変だったと思います。ご苦勞様でした。



第十五回世界仏教婦人会大会

平成二七年五月三十日(土)～三十一日(日)カナダ・カルガリー市に於いて、第十五回世界仏教婦人会大会が開催されました。新潟教区四名、国府教区十名、合計十四名で参加しました。「いだからでもつながるわたしのいのち」を大会テーマに、記念講演は梁瀬奈々さん、カナヤ・ウスキ・パトリシア開教使でした。次回は、平成三一年八月三十日～九月一日、北米開教区サンフランシスコで開催されます。

平成26年度活動報告

与板組

★与板組寺院女性会 研修会

① 6月28日(日)

「寺院過去帳に類する帳簿」に関する開示問題について(研修会後親睦会)

長岡組

★長岡組寺院女性会

① 10月10日(土)

長岡市仏教会「花祭り90回記念講演会」

参加

講師：堀澤祖門師(三千院門主)

会場：ホテルニューオータニ長岡

② ボランティア活動 年間9回

タオル・ビニール袋たたみ、縫い物等

③ 12月10日(木)

ボランティア慰労会

会場：アーラゼータ

④ 10月17日(土)

リサイクル活動使用済みローソクの収集

【吉運堂さん経由NPO法人介して

アフガニスタンへ】

⑤ 法話会

春季：6月29日(月) 会場：西福寺

講師：藤井賢誠師(福島県 光善寺)

講題 みほとけの願いにいかされる

秋季：12月1日(火) 会場：西福寺

講師 伊勢みずほ師(フリーアナウンサー)

講題 病気を授かって、見えたこと

法話 高橋純明師

⑥ 3月2日(月)

総会：「料亭いまつ」にて

★長岡組仏教婦人会

① 9月12日(土) 会場：西楽寺

「操体法」で自分の身体を見直そう

元上組

★元上組仏教婦人会連盟 総会

6月6日(土) 会場：正林寺

法話：正林寺住職 堀川意明師

★親鸞聖人750回大遠忌法要(報恩のつどい)

6月13日(土) 会場：リックホール

影絵法話・絵物語正信偈・法話 釈徹宗

★元上組寺院女性会連盟総会・懇親会

6月23日(火) 会場：彦二楼

★さわやか法話会

7月5日(日) 会場：専徳寺

ガンを生きる：雲外寺 真敷祐弘師

★仏壮・仏婦合同研修会

7月23日(木) ～ 24日(金)

富山県城端別院 他

★元上組寺院女性会連盟研修会・懇親会

10月21日(水) 会場：正林寺

過去帳問題について：常禅寺 旭 勲師

三条組

★三条組みのり会(仏教婦人会・寺院女性会)

① 総会

4月15日(水) 会場：ワシントンホテル

26年度活動・会計報告

27年度活動計画

② 研修会

9月2日(水) 会場：三条鍛冶道場

消しゴムはんこづくりワークショップ

講師：元上組 極楽寺 麻田弘潤師

③ 研修会

12月2日(水) 会場：三糸ロイヤルホテル

過去帳又はこれに類する帳簿の開示問題につ

いてー過去帳の管理と認識について学ぶ

講師：与板組 常禅寺 旭 勲師

地藏堂組

★① 1月28日(水)

役員選出を兼ねた食事交流会

新潟組

★新潟組寺院女性会連盟研修会・懇親会

4月24日(金) 会場：光林寺

講師：新潟教務所長 野村宗雄師

★新潟組仏教婦人会連盟総会

6月15日(月) 会場：金照寺

講題：阿弥陀様のお慈悲

講師：巻組 長光寺 伊藤教恵師

★新潟組仏婦・寺院女性合同研修旅行

11月9日(月)

新潟別院常例法座参拝

講師：国府教区 長井順一師

参加者 36名

★新潟組合同研修会

3月4日(金) 会場：光林寺

講題：病気を授かって見えたこと

講師：伊勢みずほ師

巻組

★ビハーク法話会コーラス

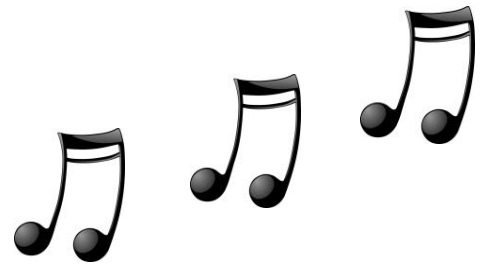
今年度も「ビハーク法話会コーラス」を「新潟あそか苑」で実施いたしました。クループ名は「迦陵頻伽(かりようびんが)」と申します。この鳥のように美しい声で歌えるよう、コーラス発表にあたり、二回の練習日には、講師先生より発生や歌詞の伝え方など、細かくご指導いただきました。

当日はホールに大勢の皆様が集まって頂き、少し緊張しながらステージにたちました。

「居多の浜から」という曲では、居多の浜の風景や恵信尼様が親鸞様に寄り添い、寂しいお暮しを、お念仏を唱えつつ、喜びに変えていくという気持ちが伝わるよう、心を込めて歌いました。他は「花」「海」「虫の声」「スキー」の四季の歌です。

皆様じっくりと耳を傾け、知っている曲には手拍子と歌で参られ、きれいな声で歌って下さる方もおられるなど、あつという間の感動のひと時でした。

皆様がこれからもお元気できて下さり、またお会いできますようにと念じつつ、ステージを降りたことでした。



お知らせ

★第三七回新潟教区仏教婦人大会

期日：平成二八年十月二九日(土)

会場：本願寺新潟別院

主管：元上組

★第二五回若婦人中央研修会

期日：平成二八年九月三日(土)～四日(日)

会場：伝道本部

★本願寺新潟別院報恩講

期日：平成二八年六月二五日(木)

～二七日(土)

講師：小林義教師(北海道教区)

◎仏教婦人会でバザーを開催いたします。

担当組は与板組・新潟組です。バザー用品がございましたら、ご協力お願い申し上げます。

*専如門主 新潟教区ご巡回、並びに新潟別院ご巡拝

期日：平成二八年五月十一日(月)

詳細につきましては、決定次第寺院へご案内いたします。